（その 108）身近にあった「劇場型詐欺事件」本当に悔しい！（2014.9）

７月１日早朝、宮原所長の家へ区内に住むＡさんから「証券詐欺にあったようなので相談にのってほしい」との電話が来ました。すぐに川崎市消費者行政センターに行き一緒にお話を聞きました。

５月の初めＡさんのところに電話が「球体の太陽光パネルを開発し福島県に設置する予定でその債権を上場します。身内で大半を固めましたがあと 32 名を一般の人から、社長は川崎市生まれなので地域の人に利益をと思いお電話させてもらいあなたが対象に選ばれたのです」

次に別の人から電話で「ＯＯ債券の者です」と言ってこの会社は大きく発展することを近くテレビと新聞で特集報道の予定で絶対お得です。と後日会社案内が送られてきました。そのあとにマスコミ関係の者だ取材させてと電話がありました。そして「５月 30 日お宅に証券をお届けしますから現金と引き換えにお願いします。なお８月上旬に上場する計画なのでそれまで身内や友人に相談するとインサイダー取引で逮捕されるので決して他人に話さないでください。上場後に証券を倍の値段で買い戻しますからくれぐれも秘密にして」と念を押されました。

Ａさんは５月 30 日自宅に来た人に何の疑いもなく現金を渡し証券と交換しました。この時も上場日前に人に相談すると犯罪者にされる恐れがありますからと言われ誰にも相談できなかったということでした。

警察に被害届を出すと同時に、東京の会社の住所を尋ねると立派なビルでしたが会社はありませんでした。

Ａさんは「電話でお金儲けの話があったら間違いなく詐欺です。必ず周りの人に相談し騙されないようにしてください」と悔しさあふれる告発でした。